



社会デザイン協会
活動イメージ



営業（メディア活用による）
コンサル（計画策定一起業地域
産業協力隊派遣）

（収入）自治体・行政・地域づくり協議会

（収入）コミュニティ図書館運営

（収入）メディア広告（WEB、写真、動画、VR）

起業地域産業
協力隊（リー
ダー＋隊員）

起業地域産業
協力隊
（AIC）候補

ファン制
度（クラ
ファン）

会員
（協会活動
支援）

協会としては、

- ・自治体・行政・地域づくり協議会等への営業
- ・起業地域産業協力隊（AIC：アイク）候補生の募集
- ・地域社会デザイナー（起業地域産業協力隊の教育係）の育成
- ・起業地域産業協力隊間の情報流通基盤の整備
- ・（研究所）社会デザインに関する研究活動・研究プロジェクト支援

オンラインスクールにて育成活動（講師は、協会教職員）

ALスクールにて育成活動

情報提供活動（起業地域産業協力隊からの地域情報発信会の開催、メルマガ）

※ファン制度は、会員として参加するのか、協会運営として参加するのかを見極めるための制度

社会デザイン協会が提供するもの

○ 開かれた地域づくり

主に日本人の高等教育のあり方を考える
SDG s 社会デザイン学

親子の教育を考える
言葉塾

真のグローバル人財を考える

真のDXは
人づくりから

協力関係団体

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム
地域人材育成のための分科会

一般社団法人グローバル教育研究所

特定非営利活動法人なかよし学園プロ
ジェクト

⋮
⋮

提供するサービス：

地域づくり教育カリキュラム—SDG s 社会デザイン学—地域社会デザイン士

コミュニティ図書館—産民学連携の地域づくり拠点

エドベン大学—SDOC（シェアリング分散オープンキャンパス）

留学生就職塾—特定技能試験対策を中心として留学生の就職支援を行う

言葉塾—英語、日本語、プログラミング：3つの言語を融合的に学ぶ

地域社会デザイナー検定のご案内

- 地域社会デザイナー検定のご案内

レベル	期間	合格率	受験料
地域社会デザイナー初級	1日（研修＋試験1回）	75%	3,900円
地域社会デザイナー	3日（研修＋試験1回＋AL）	50%	7,800円
地域社会デザイナージュニアプロ （JP）	最低一か月間の地域研修 ※地域社会デザイナーの資格保有		
地域社会デザイナープロ	最低一年間の地域研修 ※地域社会デザイナーJPの資格保有		

- 体験実地研修（6日間） 39,000円
- 年に一回更新講義（1日）（3,900円）：地域社会デザイナー初級研修と同一

SDGs 社会デザイン学 カリキュラムA

第1回	SDGs 社会デザイン学のフレームワーク	木を見て森を見るための学問体系の説明。あらゆる失敗から学び、原点を見つめ直す。
第2回	Limited Earth視点（もったいないの底流的思考）	地球は有限、この原点から始まる禅の思想、もったいないの考えを学ぶ。
第3回	人口減少社会における経済活動	今までの経済活動は人口増加を前提としている。そのことを意識しながら、地域課題の本質を考える。
第4回	地域づくりのレジリエンス	多くの地域づくりでは観光を中心とした地域資源に注目するが、地域資源はそれとは違う。地域資源の考え方を学ぶ。
第5回	生活の豊かさとは（江戸時代の日本社会）	江戸時代の庶民の生活に焦点を当て、その時代の幸せを考える
第6回	シェアリングエコノミー現象	仙台のレンタルサイクル事業の事例を基に、現在のシェアリングエコノミー現象を分析する
第7回	協同組合の思想（賀川豊彦が求めたもの）	立体農業を紹介しながら、幸せな社会の形を考える
第8回	自然環境学	バイオリージョンの考え方に基づく地域づくり（藩の地域づくりの事例をもとに）
第9回	脱経済成長の経済学	ローマクラブ「成長の限界」を紹介しながら、そこでの指摘を検証する
第10回	社会的連帯経済学	「社会的連帯経済入門」を紹介しながら、幸せに生活できる社会を検証する

(情報を軸とした) 産官学融合型の地域づくり拠点の構成要素

自立するための域内経済と豊かさをもたらす域外経済

域内経済: 地域循環通貨

- 例: ウェルチョコの活用 (地域循環通貨の獲得)
- みんなのカフェ食堂に納入する食材の支払いは、ウェルチョコにて。
 - 売電できた分の住民への支払いはウェルチョコで。
 - 地域コンビニや産直センターではウェルチョコで購入できる商品も陳列。
 - 産直品(野菜など)を納入すると、ウェルチョコの獲得。



- 例: 地域経営(地域商社)活用
ウェルチョコ対象商品取り扱いメーカーとして登録
- 協同組合組織を組成し、地域の資源を活用した商品を開発し、外販する。
 - 獲得した外貨は、組合員で分配するとともに、組合基金として蓄える。

域外経済: 外貨獲得

- (地域循環通貨の利用)
- みんなのカフェ食堂にて利用可能。
 - 地域コンビニや産直センターにおけるウェルチョコ対象商品の購入。
 - 朝飯前の仕事の報酬をウェルチョコによる支払い。

Confidential Society Design Association

域内と域外の経済的交流の増加

今がわかる
マーケティング
データ

域内メンバー 域外メンバー

コワーキングスペース利用者やチャレンジショップ
活用による新しい店の創出。ウェルチョコによる
買い物客の誘引。→消費行動データの収集。

域外との交流

行動データの活用

産からの観点

消費行動データの
情報銀行

産民学融合 型の地域づくり 拠点

SDOC

行動データ

地域特有課題・解決

民からの観点

学から発生
する交流の
創出

域内メンバー

コミュニティ図書館機能の中から、情報交換会や域間交流企画(オープンゼミへの参加)、
図書館利用等地域住民の交流

地域産業の創出、起業促進

座学(TSPモデル
電子テキスト利用)に
よる読書行動データ

域内メンバー

域外メンバー

コミュニティ図書館機能の中から、大学(シェアリング)キャンパス
を利用。登録している大学の学生が利用対象。

大学教員による、地域への積極的アプローチ(セミナー等開催)が可能。

地域でのアクティブラーニングによる
環境学習行動データ

可視化された地域活性化活動

(たとえば) 地域活性化活動の拠点としてのコミュニティ図書館

【個別イメージ】

拠点

コミュニティ図書館（地域づくりに必要な機能の集まり）

【空きスペース利活用ー5G+Society5.0+再生可能エネルギー等研究実証拠点】

地域図書館+大学等サテライト研究室+みんなのカフェ食堂+産直センター+コワーキングスペース+チャレンジショップ+仮設宿泊研究+データセンター+研修センター（留学生就職塾+言葉塾+大学サテライトカレッジ）

受講科目によって、
大学卒業資格修得可能

地域循環通貨で
地域内経済の循環を促す

留学生就職塾
主に留学生の就職支援を行う。
そのための、日本語教育、ビジネス教育を行う

会員動画は、住民メディアの素材として地域おこし協力隊メンバーが集める。そこで集めた情報は、地域情報としてHPにまとめる。そのHP、及び動画は広告収入を主とする。また、セミナーや勉強会を開き、講師収入も検討する。

ここにある機能は一部利用でも全部を整えても可

本校へ児童の送り届け

学校（行政）が準備



スクールバス（将来的には電気バス）ー充電はカートリッジ式を検討。カートリッジ式充電には、再生可能エネルギーによる充電

みんなのカフェ食堂イメージ

産直センターイメージ

地域住民の方が捨てるような要らないものー朝までにコミュニティ図書館へ集める

地域住民（主に、半農半Xの住民）

物々交換したもの

物々交換が成立した商品のお届け

（この際、成立していない商品でもいらぬものは回収する。）←この商品は、コミュニティ図書館に置き、物々交換した商品を優先に、残っているものは先着で販売もする。さらに残ったものは、みんなのカフェ食堂にて提供する。

届けるのは、主に地域おこし協力隊のメンバー（ウェルちょ交換品を届ける、買い物代行や便利屋の仕事は、ウェルちょにて支払い）

エドベン大学 (オープンネットワーク型地域人財教育プロジェクト) とは

SDOC (シェアリング分散オープンキャンパス : 学学連携) の集合体

- 産学民共創による地域人材育成プロジェクト
- エドベン大学の目指すところは、オープンデータドリブン教育

【ここでのデータは参加教育機関で共有し、教育の質を図る】



エドベン大学

キャンパスは
SDOC+社会

コミュニティ図書館機能

- 【地域図書館】 : 図書館蔵書は退官大学教員を中心とした寄付の本。必要であれば寄付者には電子書籍として提供。行政窓口兼務可。
- 【サテライト研究室】 : 談話OKのスペース。カフェ併設。地域図書館に遊びに来た大学教員のゼミ (地域住民も参加できる) 開催もOK。(地域連携モデル)
- 【ワーキングスペース】 : チャレンジショップも併設。
- 【産直センター】 : チャレンジショップも併設。
- 【仮設宿泊】 : 災害時仮設宿泊研究もできる宿泊所。ゼミ合宿の宿泊施設としても利用可。
- 【研修センター】 : 留学生就職塾 (日本語学校兼ねる) + 大学サテライトカレッジにもできる。
- 【シェアリング分散オープンキャンパス (SDOC)】 : オープンネットワーク型大学キャンパス
- 【データセンター】 : 情報分析用データ拠点。IT接続ハブ。電源は自然エネルギーを活用。通常のデータセンター一部貸し出しのほか、情報銀行までの進展を検討。



読書行動、観察行動の情報を蓄積

コミュニティ図書館を中心に社会に貢献する科学を学ぶための **教養** と **思考法** を修得するための座学とALを展開

座学

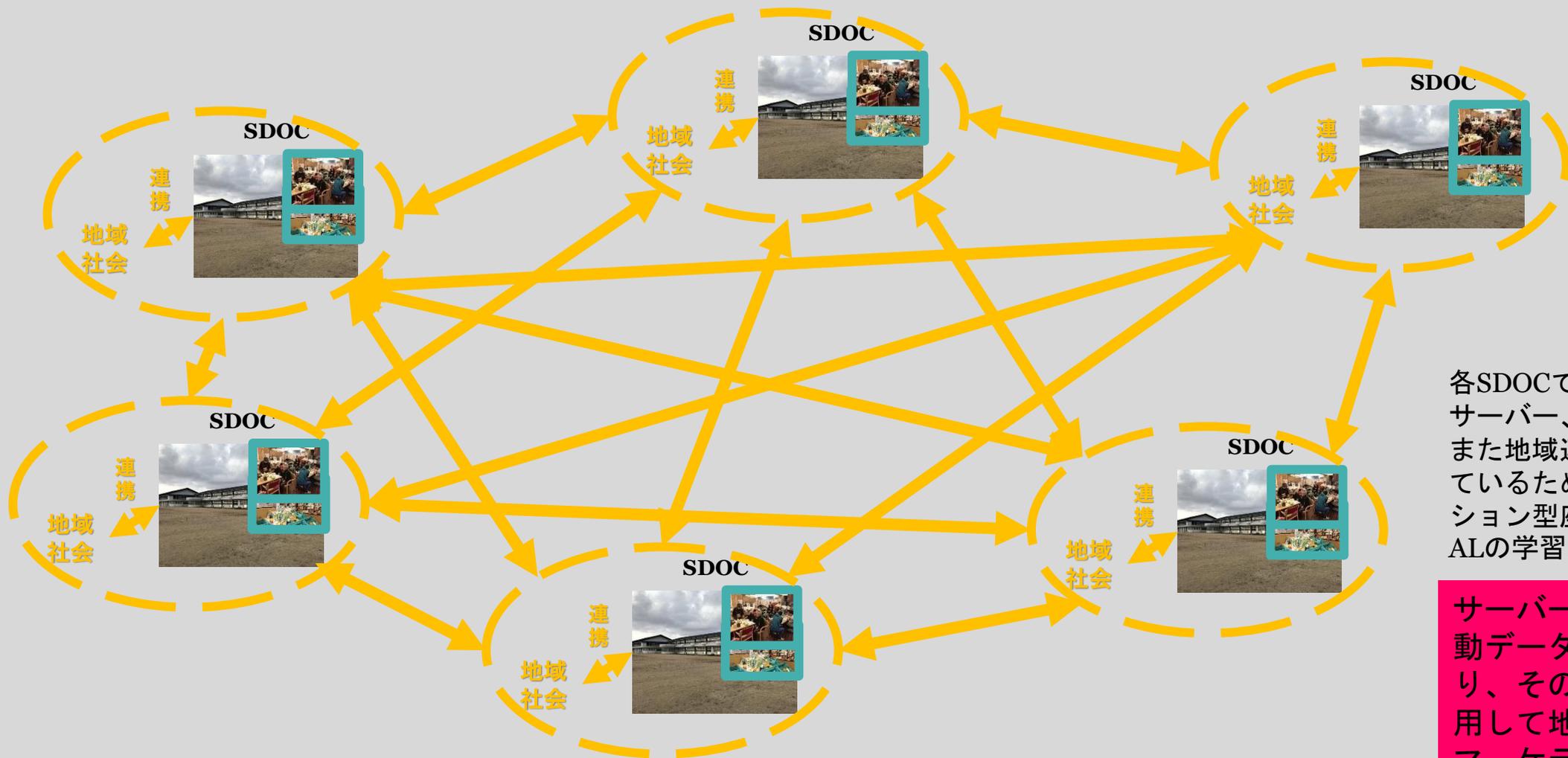
アクティブラーニング

テキスト (TSPモデル電子書籍) による理解の把握

観察を中心とした環境学習、グループワーク

エドベン大学・プロジェクト（オープンネットワーク型地域人財教育プロジェクト）とは

SDOC（シェアリング分散オープンキャンパス：学学連携）の集合体



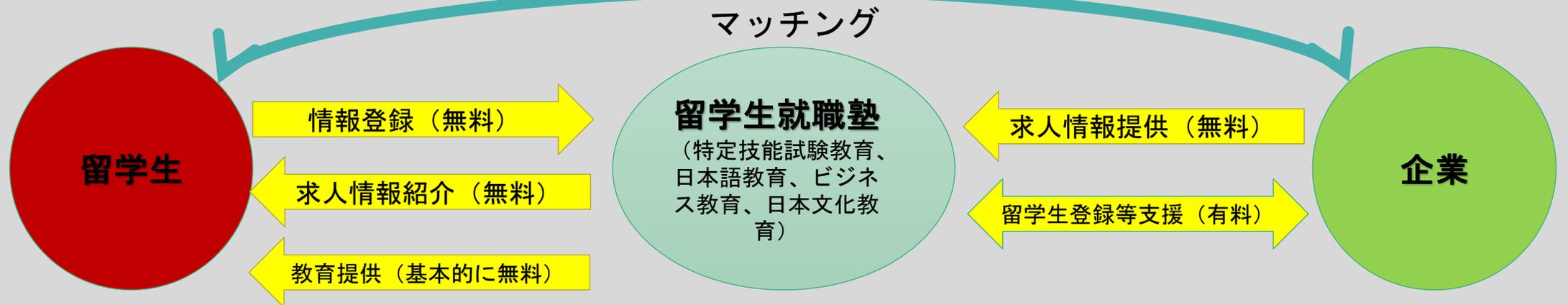
各SDOCでは、ゼミ室、サーバー、Wifiがあり、また地域連携拠点となっているため、ディスカッション型座学と体験型ALの学習が可能。

サーバー内には、行動データの蓄積があり、そのデータを活用して地域づくりやマーケティング研究をすることも可能。

機能のひとつとして、コミュニティ図書館の分散ネットワークサーバーによる仮想情報銀行

留学生就職塾

- 働き手が少なくなっていく中、外国人留学生の就職状況が変化しつつある。今までの研修実習、就労に加えて、特定技能就労が2019年度より始まった。しかし一方で、教育の質が低下している関係もあり、外国人留学生の質の担保において不安なところもあり、受け入れ企業も二の足を踏む傾向が高い。そこで、外国人留学生の質の担保を図りつつ、受け入れ企業とのマッチングを行う団体（協同組合Circulife）を立ち上げ、主に留学生の質の担保において当協会が支援を行う。なお、留学生就職塾は、就職支援のみならず、就職後の留学生の会社の不安等の相談窓口も用意する。



採用までの基本的な流れ

①アルバイト（インターン）→②就職

言葉塾

提供内容

- 親子で学ぶ日本語（留学生との交流あり）：要請に従い、家庭教師派遣も
- 親子で学ぶ英語（留学生との交流あり）：要請に従い、家庭教師派遣も
- 社会人が学ぶビジネス用語、英語
- 親子で学ぶプログラミング言語

支部活動イメージ

地方地域行政の広報支援、後方支援。（今後、Good Community認証制度、言葉塾を立ち上げていきます。その営業）



- 地域支部会員の募集

SDAメディア研究センターのコンテンツ作成（協会本部はそのための勉強会の実施。協会員は月一回の勉強会には無償参加。（クラファン4,800円コース／月 相当））

–mitai.tv  は地域情報を発信していきます。地域ごとにブログ、写真、動画の構成で地域情報を発信していきます。また、地域おこし協力隊、起業地域産業協力隊（AIC）募集のあった地方行政の案内、また、関係各社からの求人案内。）

–ikou.jp は連携研究プロジェクト及び関連手法の発表（AI手法の開発含む）

- 起業地域産業協力隊（AIC）の募集

SDGs 社会デザイン学修了者を登録していきます（協会入会が前提）。その登録者の募集（←ここは、クラファンに誘導し、その後に協会員？）

- コミュニティ図書館の運営

- ファンの形成 

ファンとは、地域づくりを応援するメンバーのこと。応援の方法として、おらが地域の情報提供、SDAメディア研究センター活動の広報（SNS等）、メルマガの購読。：ファンになることに費用は発生しません。



- クラファン（お試し協会員）の募集

今後展開予定の大学の予備生、また、地域支部協会員候補生、また、AIC候補生。

Good Community 認証

アフターコロナの社会にあっても、安心な社会であることについて、学術的調査に基づき、その認証（有効期限付き）を行う。対象は、行政の観光、地域づくり関連部署向け。認証費用は発生させない。認証のための書類を作成します。

